

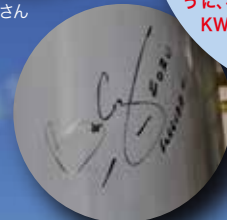


ブライアン・メイさんの写真は、特別に使用許諾を得て掲載しています。



柴田一成京都大学名誉教授と握手するブライアン・メイさん

2020年1月27日、イギリスの伝説的なロックバンド「クイーン」のギタリストで宇宙物理学者のブライアン・メイさんが花山天文台を見学され、以下の応援メッセージを贈ってくださいました。
『花山天文台の存続への戦いを支援します。ごどもたちが、このすばらしい歴史をもつ天文台を訪れ、あこがれ、次世代の若いアマチュア天文学者のインスピレーションの重要な源となるように、花山天文台の存続を! (KEEP KWASAN ALIVE!)』
(ブライアン・メイさんのインスタグラムより)



ブライアン・メイさんが残した45cm屈折望遠鏡土台のサイン

花山天文台 土日一般公開

みんな
天文台に
行こう!!

2020年4月から、京都大学大学院理学研究科附属花山天文台では、土曜日と日曜日の昼の一般公開を始めます。また、月に一回、土曜日の夜に星空観望会も実施します。天文学や宇宙ファンの皆さまのご参加をお待ちしています。

昼の一般公開

※花山天文台で昼に別のイベントが予定されている場合は休館となります。最新情報を直前にWebでご確認ください。

公開時間：10:30 から 16:00 (15:30 受付終了)

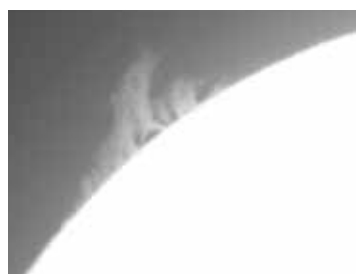
公開施設と内容：本館・別館・歴史館の自由見学

入場料金：大人 1,000 円、小中高生 500 円

(小中学生は保護者同伴が必須)

〈事前申込不要〉

オプションとして、柴田一成京都大学名誉教授(前天文台長)の特別講演コース(土曜日)や最新の宇宙像を立体映像で体感する4次元デジタル宇宙シアター(日曜日)も予定しています。オプション追加料金や定員、申込方法などの詳細は、裏面をご覧ください。



太陽プロミネンス 別館：晴天時には、18cm 屈折ザートリウス望遠鏡でリアルタイムの太陽画像を観察できます



月のクレーター 本館：45cm 屈折望遠鏡 (星空観望会)



太陽スペクトル(虹) 太陽館：70cm シーロ スタット望遠鏡 (土曜日特別講演コース)

夜の星空観望会

※月一回、土曜日の夜に実施予定です。最新情報をWebでご確認ください。

星空観望会の参加には事前申込が必要です。

日程や料金、申込方法などの詳細は裏面をご覧ください。

主催 京都大学大学院理学研究科附属天文台

共催 一般財団法人 花山宇宙文化財団

Web <https://kwasan.kyoto-u.ac.jp/open>

お問合せ kengaku-kwasan@kwasan.kyoto-u.ac.jp



花山天文台とは



花山天文台は、清水寺の裏に広がる花山山(かざんやま)の山頂にある京都大学大学院理学研究科附属の施設です。1929年の設立以来、日本の天文学研究の隆盛を強く牽引してきました。また、アマチュア天文家との活発な交流を通してそのすそ野を広げ、世界一ともいわれる日本のアマチュア天文界の発展にも貢献してきました。火星観測や太陽観測研究における顕著な功績も残しており、学問の芽を育て、研究者とアマチュア天文家を育ててきた貴重な天文台です。

本館

45cm屈折望遠鏡が設置されています。この望遠鏡は理学部宇宙物理学教室で購入し、昭和4年に花山天文台に設置されました。当初、口径30cmのレンズでしたが、昭和44年に性能向上のため、カール・ツァイス製の45cmレンズに換装されました。日周追尾装置は購入当初からの重力時計を用いています。



別館

18cm屈折望遠鏡が設置されています。この望遠鏡は、1910年のハレー彗星接近の折りに、ザートリウス社(ドイツ、ゲッチンゲン)より京都大学が購入したものです。今は、太陽望遠鏡として活躍しています。現役で稼働する望遠鏡としては、国内で最長の寿命を誇る望遠鏡です。また、口径11.5センチの屈折望遠鏡も同架されており、黒点スケッチも行われています。



歴史館

昭和4年に開館した子午線館は、天文台において、精密時計を補正するなど目的のために用いられていました。大正から昭和初期に建築された平屋根の洋式木造建築として、日本の建築学史上においても貴重な建築物であり、花山天文台歴史館として修復保存されることになりました。



太陽館

70cmシーロスタットが設置され、建物全体が一つの望遠鏡として機能しています。昭和36年に設立された太陽館は太陽の分光スペクトル観測望遠鏡として活躍しています



花山天文台 土日一般公開について

天文学を文化として根付かせてきたかけがえのない花山天文台を多くの市民に知っていただき、将来にわたって有効に活用するため、2020年4月から土曜日と日曜日の昼に一般公開します。また、月に一回、土曜日の夜に星空観望会も行います。

なお、この一般公開によって得た収益は、花山天文台の維持のために活用します。お子さまからご年配の方まで、天文学や宇宙に興味のある多くの方のご参加をお待ちしています。

昼の一般公開 オプションコース

【特別講演コース(申込必要・先着順・土曜日)について】

●内容：柴田一成 京都大学名誉教授(前天文台長)によるミニ講演と太陽館見学をおこないます。

●開始時刻：(1) 10:40 (2) 12:30 (3) 14:00
所要時間：約60分

●定員：各回20名(定員に余裕がある場合、当日受付可)

●申込方法：なるべくWebからお申し込みください。
(Webからの方法)

<https://kwasan.kyoto-u.ac.jp/open>からお申し込みください。

(復復はがきによる方法)

以下の内容を明記して、送り先に郵送してください。

- ① 代表者の氏名(ふりがな)
- ② 代表者の連絡先(電話番号)
- ③ 参加希望人数、全員の氏名と大人、小中高生の区別
- ④ 参加希望日や時間

送り先：〒607-8471 京都市山科区北花山大峰町

「京都大学 花山天文台 土曜日特別講演コース」係

【京都大学4次元デジタル宇宙シアター(日曜日)上映について】

※特別講演コースを実施しない土曜日にも実施することがあります。

●内容：国立天文台4D2Uプロジェクト提供の「Mitaka」や動画と、京大天文台独自の3D動画「Kyoto4D」により上映します。最先端の3次元シミュレーションデータや観測データを用いて、天体や宇宙の構造と進化を立体的、かつ直感的に知ることができます。上映中は3Dメガネを着用します。

●開始時刻：(1) 11:30 (2) 13:30 (3) 14:30 所要時間：約30分

●定員：各回20人(事前申込不要(先着順))

夜の星空観望会(申込必要・先着順)について

●内容：45cm屈折望遠鏡での観望、天文台教員によるミニ講演と茶話会をお楽しみいただけます。雨天曇天の場合、観望はできません。しかし、45cm屈折望遠鏡の見学、4次元デジタル宇宙シアター鑑賞(他のプログラム)を実施します(なお、京都の天候では、晴天の確率は3分の1ぐらいです)。

●開始時間：18:30から19:30(季節により変動します)
所要時間：約100分

●定員：40名

●申込方法：<https://kwasan.kyoto-u.ac.jp/open>からお申し込みください。

※実施日や申込方法は、Webを確認してください。

料金(いずれも小中学生は保護者の同伴が必須)

	大人	小中高生
昼の一般公開入場料	1,000円	500円

昼の一般公開 オプションコース入場料

	大人	小中高生
特別講演コース	1,000円	500円
4次元デジタルシアター	500円	300円

※特別講演コースと4次元デジタルシアターの鑑賞には、各料金の他に昼の一般公開の入場料が必要です。

夜の星空観望会(月一回・土曜日)入場料

	大人	学生(大・高)	こども(中・小)
夜の星空観望会入場料	3,300円	1,800円	500円

アクセス方法

昼の一般公開：京阪バス(最寄バス停：將軍塚青龍殿)やタクシーをご利用ください(自家用車の利用はできません)。夜の星空観望会：夜間は京阪バスの運行がありませんので、自家用車やタクシーなどで直接花山天文台までお越しください。